

正規化伴奏曲パタンの音楽的ニューラルネット的対応系について

7S-1

横田 誠 加藤 佳仁 横山 未希子
電気通信大学

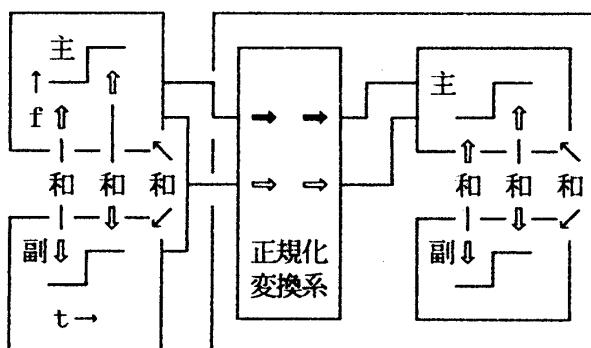
1. まえがき

情報的パタンの内に音楽的パタンがある。音楽的パタンを認知したり、演奏したり、創作したりする、パフォームするシステムを、音楽的ニューラルネット的システム：MPNとして考えている。音楽的パタン系は、先ず正規化楽曲パタンとして、MPNに取り込まれる。今回は、主旋律パタンの、考えられる種々のデフォルメである、ポリフォニイ系の一つとして、伴奏的パタン系の、MPNへの取り込みについて考える。

2. 時系列ステップパタンの2系列調和系

ある長さ ℓ の線路が存在すると、その特性パタンの基礎パタンは、一つのオクターヴ系列（伝送モードである速度 v に対応する周波数系列）である。この一つのオクターヴ系が平均律12音系に拡張された系を原子音素系とする。音楽系はこの原子音素の結合系の音楽的部分系である。音楽的結合系には、共時結合系と継時結合系があり、いずれも、二つ以上の原子音素間の音楽的調和が条件である。原子音素は12系列であるが、分子系としては、その内の7原子音素系である。各楽曲パタン系は、7種の7音系のメッシュパタンにすることになる。以後音素間の調和結合については、各メッシュパタン内で考える。

図1. は一つの楽曲パタンを主系列として、これに併行結合進行する副系列パタンと、これ等の部分、全体のパタンを感受対応するシステムとして、先ず正規化変換系を通って、主記憶に入る。内部の副系列は



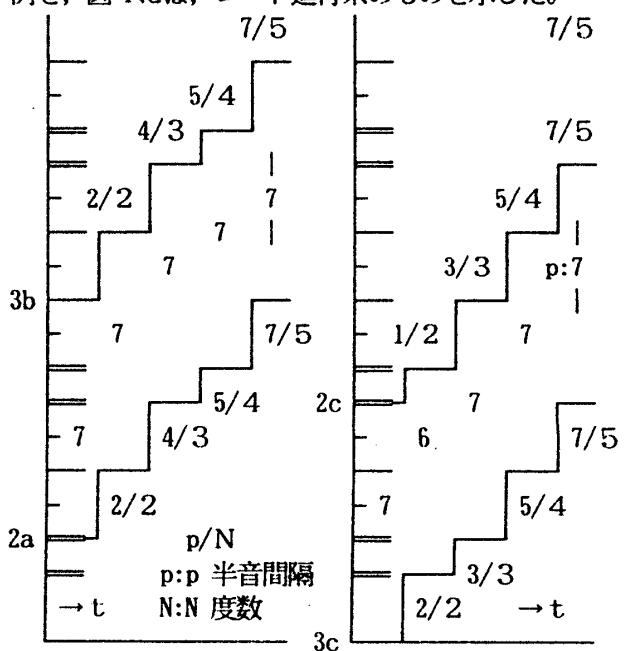
a) 楽曲パタン b) 楽曲パタン・感性対応システム
図1. 主・副楽曲パタン系の併行結合進行系

Makoto YOKOTA, Yoshihito KATO, Mikiko YOKOYAMA,
The University of Electro-Communications
On the Main and the Accompaniment Patterns as
the Normalized Systems and a Performance System as
the Neural Networks

栄養素的に元型的系（あり得る系）として内蔵しているものと、既存の調和列系として、経験的系（源系系：在った系）として主記憶系に入るものもある。

3. 2系列結合進行パタン系の例

非正規化パタン系と、正規化系（右側に表示）について、図2には、長調的系（左側）と、短調的系（右側）について、5度間隔の、2系列結合進行パタン系の例を示した。次に図3には、混声・和声的パタン例を、図4には、コード進行系のものを示した。



a) 2a系, 3b系結合進行例, b) 3c系, 2c系結合進行例
図2. 5度間隔の2系列の結合進行パタンの例

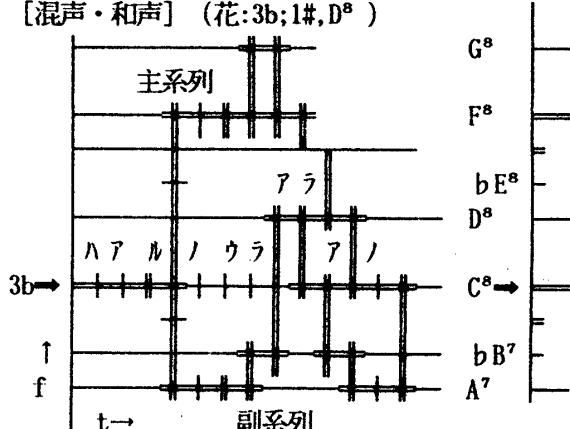
[混声・和声] (花:3b; 1#, D⁸)

図3. [混声・和声] 的、主・副系列結合進行例

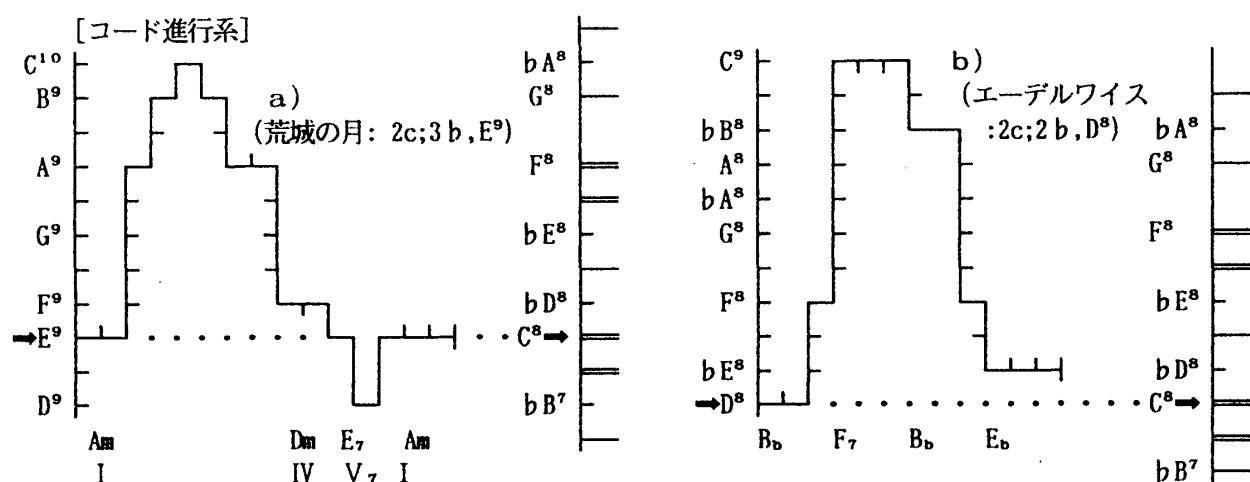


図4. [コード進行系] 的、主・副系列結合進行例

4. 楽曲バタン・感性対応システム

図5は、非正規化系の任意の楽曲バタンを原曲として、これが正規化系に変換するゲート系を通過して、正規化されたバタンとして、又、混合（変形）部を通過したものを、それぞれ記憶系に格納する。記憶部には、この外に、外来のバタンに付加して変形、および創作する為の、栄養素的部を内蔵させる。

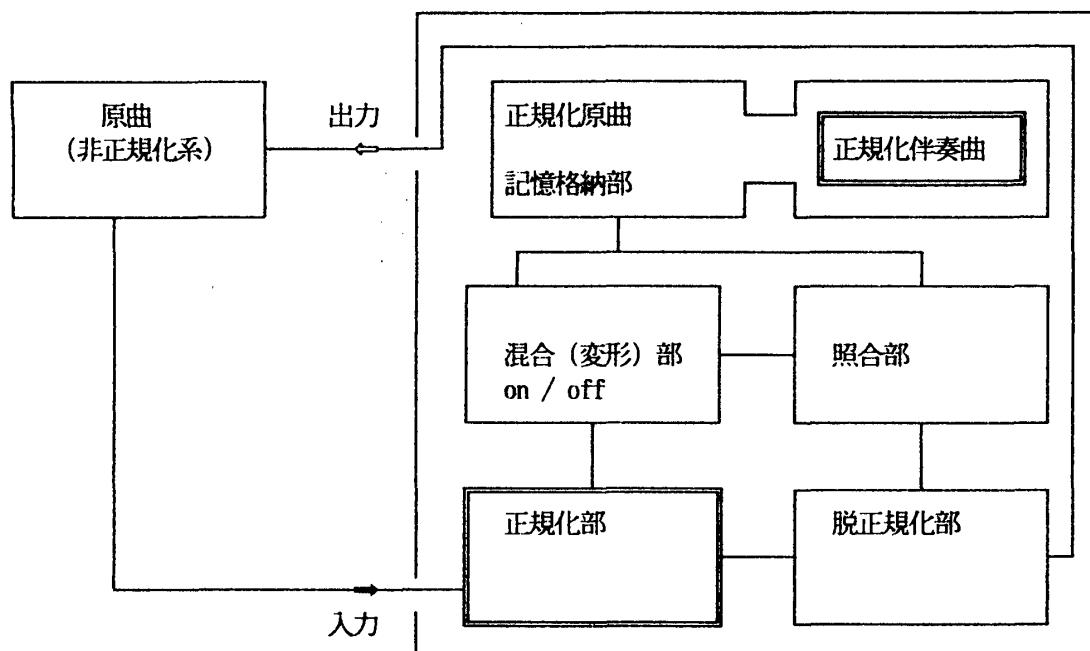


図5. 楽曲バタン・感性対応システム

5. むすび

音楽的感性を呼び起こすものには、単純なステップバタンのみでなく、むしろ、デフォルメされた歌唱、演奏がある。今回は、正規化楽曲バタンの一般型系としてのポリフォニー系に対する、音楽幾何学的な究明への基礎的過程として、準備的に考えてみた。

[文献]

- 1) 横田 誠, 加藤佳仁, 横山未希子: "正規化楽曲バタン系の分類の為の遷移表示のメッシュ層連について" 電子情信学会秋大会, 1994, 9,
- 2) 横田 誠, 加藤佳仁, 横山未希子: "2値2元楽曲バタン系の分類について" 電子情信学会秋大会, 1994, 9,
- 3) 横田 誠: "楽曲構造の音楽的正規化について" 音楽音響研究会(音響学会) Vol. 7, No. 7, 1989, 3, 16.
- 4) 横田 誠: "音楽的「味覚系」への入力系としての音楽的「味子系」について" 音響学会春大会, 2-2-1, 1991, 3, 28,
- 5) 横田 誠: "楽曲バタンルメントの音楽的味子的分類について" 音響学会春大会, 1992, 3, 18,
- 6) 後藤和之, 横田 誠: "ニューラルネットワークによる音程抽出について" 電子情報通信学会論文誌, Vol. J75A, No. 3, 1992, 3,